

いつか 必ず きっと

さあ行こう！新しいステージへ！

コロナ禍の一年間もいよいよ終わりを迎えようとしています。こんな特別な一年間は、もう二度とないのではないかと思います。振り返ると、コロナ禍を逆手にとって、前例のないことにたくさんチャレンジしてきました。

6月から始めて、12月まで続けて行った食農体験学習。10月の日帰り冒険活動。12月の完全燃焼大運動会。運動会が終了してからは、来年度6月の社会体験学習に向けての活動を進めています。(先日の校外学習もその一環) 2月には、3年生へ向けてのメッセージ作り。3月には卒業式に向けての花のアーチ作りや昇降口の飾りつけ……。すべてを本気でやり切ることができました。

完全燃焼軍団が本気で物事に取り組むときのエネルギーは、「誰かのために」という想いです。

「誰かのために」という想いは、力を倍増させてくれて、「そこそこやるな」を「そこまでやるか」に進化させてくれました。

また、みなさんが卒業式を大成功させるための支えとなったように、自分たちが満足できる活動ができた時には、必ず、見えないところで支えてくれる人がたくさんいるということも忘れないようにしてください。それをいつも忘れないようにするために行うのが「あいさつ」なのです。

『情熱 + 努力 + 仲間 = 完全燃焼』

これからも、結果よりも経過にとことんこだわり、時間をかけ、本気の先に待っている感動や感謝を感じられることをたくさんやっていきましょう。100点満点をとることではなく、100%を出し切ることを大切に、自分たちだけでなく、周りの人も幸せな気持ちにできるような「成幸体験」を積み重ねていきましょう。

中学1年生の学校生活という扉は、もうみなさんの後ろにあって、閉じようとしています。この先は、振り返ることはできても、戻ることはできません。みなさんの目の前には、中学2年生という新しい扉が開いています。そこに、自信をもって踏み込んでいくためにも、春休みを利用して、自分の強みも弱みもきちんと自覚し、新たなステージの始まりに向けて、内面から湧き上がるような目標を設定してください。先生も、みなさんが、自分で考えて行動できる個人・集団になれるように、精一杯準備していこうと思います。

今年度入学してきてくれたこと、出会えたこと、一緒に過ごせたことに「アリガトウ」。

保護者の皆様へ

保護者の皆様、お子様の進級おめでとうございます。早いもので、1年生としての学校生活は終わりを迎えようとしています。コロナ禍の一年間、多感なお子様のそばで、ご苦労も少なくなかったのではないかと存じます。保護者の皆様のご理解、ご協力を支えにして、この一年間、子供たちの成長の様子が、学校生活の中でたくさん見られました。4月からは、いよいよ後輩を迎え入れます。よき先輩としての活躍を期待しています。まことにありがとうございました。

1学年職員一同、心より感謝申し上げます。

◆ 絶望より立つ ◆ より

須永 博士

ほんのわずかな時間でした

ほんの短い言葉でした

ほんの小さい出来事でした

でもわたしはあなたを忘れません

あなたが好きになったから

---*---*---*---*---*---*---*---*---